



コミュニティ・スクールだより

～地域 みんなでつくる、彦根の未来～

彦根市教育委員会事務局 生涯学習課

第1号 令和7年6月11日

令和6年4月、彦根市内全小・中学校がコミュニティ・スクールとなりました。この「コミュニティ・スクールだより」では、コミュニティ・スクールについてみなさんに知ってもらえるように、各学校運営協議会や地域学校協働活動の様子についてお届けしていきます!!



「コミュニティ・スクール」とは？

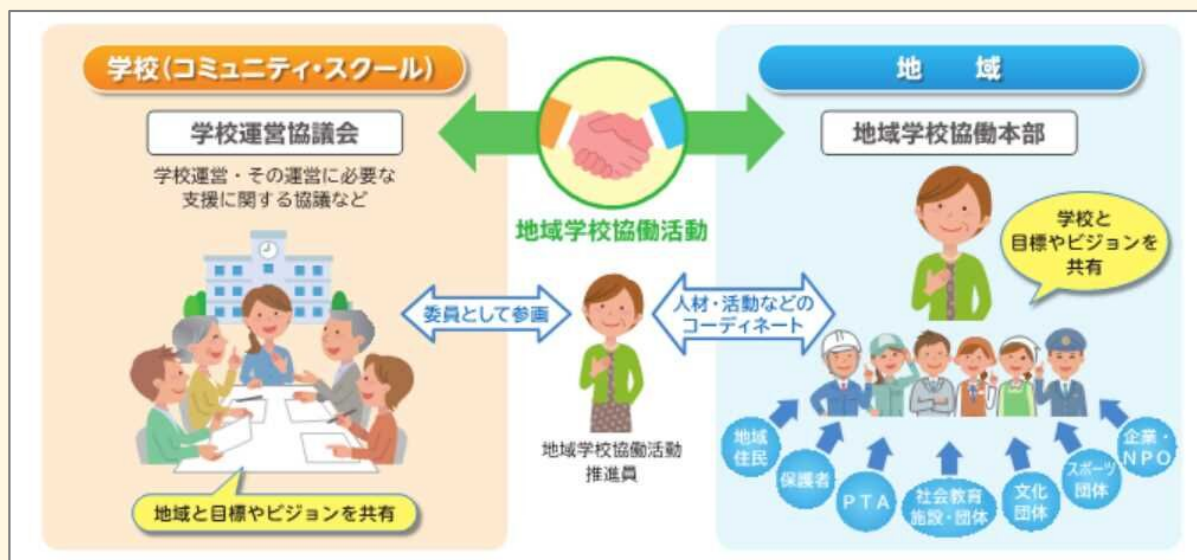
学校運営協議会を設置した学校のことです。彦根市では、平成28年度に若葉小学校に学校運営協議会を設置して以降、設置校を順次増やし、令和6年度11校に設置したことで、全小・中学校がコミュニティ・スクールとなりました。



「学校運営協議会」とは？

法律に基づき、教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、**学校の運営とそのために必要な支援等について協議する合議制の機関**です。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



「これからの学校と地域」
二次元コード



出典:「これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」(文部科学省)

近年、社会の変化により、地域のつながりの希薄化等による地域教育力の低下、学校や子どもたちが抱える課題の多様化や複雑化を背景として、**学校と地域が目標を共有した教育活動の実現等**が求められています。

彦根市では、コミュニティ・スクールに加え、地域住民や保護者をはじめ、地域の幅広い参画を得て実施する活動「**地域学校協働活動**」を市内全小・中学校で推進しています。各学校で、地域と学校が目標やビジョンを共有して問題の解決にあたる活動が行われ、「**地域学校協働活動推進員**」が橋渡し役となって、一体的な推進を牽引(けんいん)する仕組みとなっています。

広報ひこね5月号で
特集されました!

「広報ひこね」二次元コード



学校を核とした地域づくりの実現に向けて～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

学校運営協議会ではどんなことをしているの？

今年度、4月中に全ての学校運営協議会で第1回協議会を終えていただきました。第1回協議会では、各校の校長先生から説明される学校教育目標や目指す子ども像等を共有し、委員の皆さんに承認（OKではなくLet's）をしていただいています。

第2回以降の協議会では、「熟議（じゅくぎ）」という話し合いを通じて、学校や子どもたち、地域をよりよくするための具体的な活動「地域学校協働活動」への話を進めていきます。



〈第1回協議会で委員から出された意見の一部〉

「地域の力で学校の教員の負担が少しでも減り、子どもたちのためになるような取組につなげたい。」

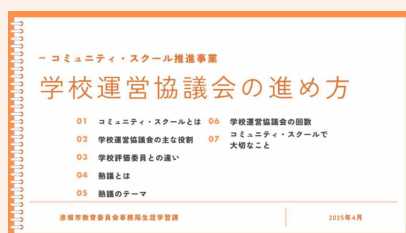
「子ども主体の取組にしていくために、子どもの声を聴く機会を設けたい。」

「『～できる人を探してほしい』など、学校から具体的なオーダーがあれば、地域で探して協力できる。」

「長期的な展望で子どもの成長をとらえたい。子どもが地域に愛着をもち、将来的に地域を支えることができる人材に育ってほしい。」



動画「学校運営協議会の進め方」



「学校運営協議会の進め方」
動画 二次元コード



第1回学校運営協議会で、委員の皆さんに動画を視聴していただいています。今年度の進め方について、具体的に説明しています。約10分です。まとめているので、ぜひご視聴ください！



5月23日（金）稲枝中学校 環境整備作業（学校運営協議会主催）



昨年度の学校運営協議会で「学校運営協議会が主催で、環境整備作業を行おう」と話し合われたことが実現し、学校・地域・保護者・生徒が協働し、除草作業や葉刈りが実施されました。

昨年度話し合われたことが、**次年度に確かに継続されており、実現している**ところは、ぜひ参考になりたいところです!!

